

暮らしに関わる

野生鳥獣の被害対策

狩猟の意義

令和2年1月13日(月曜祝日)

旭川市農業センター 講堂 13:00 より

※参加には申し込みが必要です。

参加
無料



第1部 13:00~
基調講演 「野生動物との上手な付き合い方」



- ・野生鳥獣の被害と生息数の推移
- ・管理(駆除、保護)の意味
- ・駆除活動の現状
- ・一般生活で心がけること

酪農学園大学 狩猟管理研究室 准教授

伊吾田 宏正 農業博士

野生動物管理において重要な役割をもつ狩猟や捕獲の価値を高め、狩猟鳥獣の理想的な管理を実現するために、エゾシカなどの鳥獣の生態と管理手法、狩猟活動の実態や狩猟者教育、鳥獣の持続的な資源利用など、フィールド調査を中心に研究を行っている。また、農林水産省ソビエココーディネーター、捕獲者認証検討委員、北海道エゾシカ有識者会議構成員 他多くの公的な役割も担っている。

第2部 14:30~
パネルディスカッション 「課題と方向性を探る」



旭川市環境部環境総務課

野生鳥獣対策担当職員。市内の野生鳥獣に対する相談対応やアライグマなどの外来種対策に従事。また、近年増加しているヒグマの出没において周辺自治体や猟友会等の関係機関と連携して被害防止に努めている。



猟友会 高梨 秀二

北海道猟友会旭川支部 支部長。狩猟歴49年のベテランハンターで、鹿や雉、ヒグマ類など多様な狩猟経験を持つ。その中で培われた、卓越した射撃技術と自然環境や野生動物への豊富な知識で、現在330名あまりの会員を束ねている。



ジビエ活用 荒田 敏彦

エゾシカ肉「山取」の代表取締役。本業である建設業に加え鹿肉加工施設とレストランを経営、上川周辺で獲れる鹿を引き取り適正な処理をしてジビエ料理、精肉、加工品、またドッグフードなどを手付け、鹿肉の普及に努めている。



農業 浅野 晃彦

神居山麓で水稲、野菜を栽培する農家。約20年前から農地に鹿が出没し、甚大な農業被害を受けたために、自身も狩猟免許を取得。地域のメンバーと協力して農家自ら自己防衛を行う。

展示

- ・模擬銃による装弾・脱包等の実演・体験
- ・わな等の実物による実演・体験
- ・狩猟に関する資料の公開
- ・鹿肉加工品の試食
- ・狩猟免許取得相談・予備講習申し込み などを予定しています。

その他

- ・参加は無料です。
- ・参加申し込みの締め切りは1月9日です。
- ・内容やスケジュールが変わることがあります。
- ・郵送、FAX、メール等での申し込みはできません。
- ・お知らせいただいた個人情報は本セミナーの運営以外に利用することはありません。



アクセス

〒070-8033
北海道旭川市神居町雨紛380-7
旭川農業センター 講堂



花菜里ランド
旭川市農業センター